

知りたいこと

望むこと

5人の議員が一般質問

同和対策事業の早期終結を

町長―差別がある限りその解決に向けて取り組む

松本 典子議員



質問 町民の皆さんの暮らしはとても大変です。

私は当町の税金の使い道がおかしい。同和事業について町の単独事業は残ったまま、終結しない理由が何かあるのか。

町長 県知事選挙により暫定予算を組んでいるため今後の県の同和事業の推移を見ながら当町も取り組んで行きたい。

質問 私たちの方が逆差別を受けている。しかし口に出せず非常に恐い。

窓口一本化、解放同盟に

人権差別を語る資格があるのか。この予算を使う資格があるのか。

町長 運動団体に補助金を交付して、そこで自主運営しています。

しかし、今からの姿勢として、もう少し深く入って補助金については精査したい。

質問 運動団体に投げ渡しているからおかしい。部落解放同盟が窓口一本化を支持し、行政を牛耳ったこの癒着を切らなければならぬ。

そして税金が使われている。この人権同和教育協議会補助金160万円で全国大会に参加しているのだから内容を聞きたい。

町長 具体的な内容については、資料を持ってきていないのでお答えできません。

ん。

質問 同和教育研究は長年行っています。毎年約100万円のお金を出し、その教育の成果はどんなものがあるのか。

町長 成果については十分に把握していませんので、この場での答弁は控えさせていただきます。

質問 多額のお金を注ぎ込んで成果がない同和教育をするのはおかしい。予算をしっかりと削って頂きたい。税金の無駄遣いです。

町長 一般的に町の財政が圧迫しているので補助金の見直しをする方向です。この辺を含めて検討課題になります。

質問 解放同盟地協負担金180万円、同和教育協議会160万円、解放団体補助金188万円、合わせて520万円、1円も削っていません。矛盾はありませんか。

町長 今までの歴史的背景もありますし、これまでの経過もあり、その辺も踏まえて予算問題を進めています。

きます。

質問 隣保館予算1922万円のうち、町の財源が967万円使われています。そして町民に広く使える施設であると言われていますが、町民の方が広く利用できる施設になっているのか。

町長 隣保館の使用について、私はそこまで深く入っていません。あくまでも今はコミュニティの場所として広く開放することを考えています。

質問 乳幼児医療を3歳から6歳まで延長するのに約850万円かかります。隣保館予算を削って、乳幼児医療費にまわして頂きたいが。

町長 当町の人権問題にも歴史がありますので、改善すべきところは改め、補助金の見直しも検討していきます。そして差別のない町にしていかなければならないと思っています。

「子育て支援」に関する 意見書の対応は

町長—財政的に厳しい状況です

宇田川 亮議員



ています。その対象年齢を1歳引き上げるのに約280万円必要となるので現在の町財政では、厳しい状況です。

質問 少人数学級について、現在剣北小学校では1年から6年まですべての学年で40人を少しすぎる状況で、1クラスです。町内でこのような状態の学校はありません。子どもたちに与える影響と先生方の負担は計り知れません。教育長はこの状況をどのように考えているのか。

教育長 県は、平成16年から小学校1・2年生を対象に少人数学級指定校を実施しています。これは、先生が増えるのではなく、配属されている先生を貼り付けるものです。当町では、指導・工夫・改善教員を配置して、学校全体で工夫して少人数学級を作っています。

質問 介護保険の保険料、使用料の減免はできないか。

町長 減免制度について

ては、県介護保険広域連合に加入しているので、その中で検討していきます。

又、医療、介護の福祉事業への助成は、本町の厳しい財政状況をご理解ください。

質問 ゴミ袋料金が高すぎるので、ゴミの減量化を図れば料金を少しでも安くできるのではないか。

町長 町民の皆さんへの周知徹底を図り、ゴミの減量化を推進します。

質問 本年3月末をもって用務員制度が廃止になります。用務員さんに対する対応はできているのか。

教育長 用務員さんには1年前から話はしてきました。現在まで住居と職が決まっていない方が、1人おられます。この方は町内に身寄りがなく、現在町営または県営住宅に応募されているところですので、期限を過ぎても居ていただくようになっています。他の方は、年金を受給されており、子どもさんと同居されます。

地元対策を十分に

町長—要望に沿うよう、県と協議をします

久保田正之議員



したのか、県が場所を指定したのか。

まちづくり対策建設課長 全て県の方で位置決定等をした上で、町に打診が来ています。

質問 町道、生活道路、用水路の変更、用地買収後は農用地が不成形に残ることが予想されるので、地元と協議をしっかりとやっていただきたい。

町長 本村区、立林区

に対策委員会を設置して頂き、県に対し水路などの要望を出し協議をしています。

質問 大雨の時は、上新橋地区の住宅、周辺農地が冠水しています。インターの関係でさらに水が一挙に流れ込み冠水の時間が長くなり、水位が高くなるのではと心配するが。

町長 治水対策をした県が、本村、立林区の営農関係者に対して説明会を開催し、地元の雨水の考え方を聞いています。

なお、本町の治水対策としては、下水道事業、雨水対策等の計画の中で対応をしていきたいと考えています。

質問 (仮称) 筑豊インターチェンジが当町に建設されるが、その経緯および経過を聞きたい。

町長 平成12年8月に県から鞍手町内においてインターチェンジの設置の打診がありました。

その後、平成16年4月に国土交通省より福岡県知事へ筑豊インターチェンジの連結許可書。同日で国土交通省より日本道路公団へ施行命令書が出されました。

質問 これは町が誘致



大雨の時、よく冠水した
上新橋・中本町地区

妊産婦健診費用助成の拡充を

町長―前向きに検討します

花田すまこ議員



質問 妊娠や出産に伴う高額な負担が出生数の低下を招く一因となっているとの判断から、各市町村は公費による妊産婦の無料健診を2回実施し、その費用は国が負担しています。

診しない妊婦も見受けられるため、母胎の健康を確保するため、妊婦健康検査の重要性、必要性が高まっています。今後、妊婦健康診査を含めた少子化対策について検討していきたいと考えています。

出生数の推移

年度	出生数
平成5年度	126人
平成10年度	123人
平成15年度	100人
平成17年度	99人
平成18年度	113人

町長 近年、高齢やストレス等を抱える妊婦が増加傾向にあると共に、就業等を理由に健診を受

質問 国は健康で安全なお産をするために、5回以上の健診が必要として、妊娠初期から36週までの間、最低5回分を無料とする方針ですが、当町は、全国基準方針が出た場合、どのように対応されるのか。

町長 内容を前向きに検討した上で、安心・安全な子育てができるよう努力していきたいと考えています。

乳幼児医療費の無料化の年齢引き上げを

質問 宮若市は、安心して子どもを生み、育てられる環境づくりのため、本年4月から、就学まで乳幼児医療費を無料とします。当町では無料は3歳までですが、4歳まで1歳でも引き上げて頂きたいが。

町長 予算の目安が付けば、前向きに検討したいと思います。

リハビリの現状と在宅支援の取り組みは

町長―今後研究し、町としての取り組みを考えていきたい

岡崎 邦博議員



質問 昨年4月に診療報酬が改定され、発症後からリハビリを受ける際に日数制限が入りましたが、当町の現状について説明をお願いしたい。

町長 7月に回復期リハビリ病棟を開設し、選任の医師のもと看護士理学療法士などが1つの

チームとなり、回復に向けてのリハビリの提供ができる体制を整えています。リハビリ提供期間が終了した後は、身体機能の低下を招かないため、在宅でできる指導を行っています。

質問 具体的には町として、在宅支援にどのように取り組んでいるのか。

町長 在宅の高齢者への支援として、65歳以上の要介護認定で、非該当と認定された高齢者の家庭を訪問し、生活指導や家事援助を行っています。リハビリの援助は行っていません。

質問 介護保険の対象になつていない人で脳血管障害によってマヒのある人は、生活支援より、残存機能を維持するための回復訓練が必要で、国・県で補えない部分はないか。

町長 本間に障害を持った方々の状況を知り、見て、お金がないなら知恵を出し、町の事業として取り組んで欲しい。

町長 新聞報道では、2年後には制度化されるというふうにも書かれていました。すべて予算が伴いますので、今後研究し、町としての取り組みを考えて行きたいと思っています。



老健施設（鞍寿の里）の機能訓練室